



第2号  
令和2年5月29日  
庄和すずらん幼稚園

## 保育随想

### ★ 意識して生活したお陰で！

新型コロナウイルス感染の恐怖で、生活のさまざま処で注意をしながらの生活を送って今に至っております。連日の報道もいろいろな見地からの放送で、自分の地域、自分の生活に結びつける実感に乏しく、一人一人がやれることは、いわゆる三密を避けること、感染しないように、そして感染させないようにする意識で過ごして参りました。このところで国から自粛解除の具体的な道筋が発表されました。6月1日より第1ステップ、6月19日より第2ステップ；他県との行き来の自粛の解除、第3ステップ、人との距離を注意することを求めながらも、観光振興での他県との行き来も自粛解除、8月1日までの移行期を経て全面自粛解除の宣言が出されました。

埼玉県や春日部市からの通達が頻繁に送られて来るところですが、それを受けて、小学校以上の新型コロナウイルス感染防止対策の取り組みとして、感染リスクを出来るだけ少なくすべく、校長先生から送られてくる学校だよりを拝見しながら、保護者の皆さまに協力を要請しながら、努力されていることに敬意を表するところであります。

一方、幼児期の生活する幼稚園では、この自粛宣言解除の前から、医療に従事する方やインフラ関係の方につきましては、申請をしていただく中で、お子さんの生活は続けて参りました。多くの保護者の皆さま方の自粛要請にご協力いただく中で、全体の五分之一のお子さんが室内の活動はもとより園庭での活動は今までと変わらない生活を送って参りました。幼稚園の生活では、子ども達が遊びを創り出し、子ども同士の育ち合いの中で、教育が成り立つのですから、密閉した空間、密集した場所、密接触、いわゆる三密状態から避けられない施設なのであります。ご存知のように感触の時代であり触れ合って、話し合っただけの活動や遊びや作品が作り上げられる生活でありますので、幼児期の学びの方法が、小学校以上と大きく異なるところにありますので、この育ちの方法を取り上げてしまうことは、この時期に育てたい意欲が育ちにくいことになります。

国、県からの自粛解除から感染の第二波を迎えないために、一人一人が引き続きの注意は必要であります。先にお知らせ致しました年長組さんの、お泊り保育につきましては、第3ステップの中にあることにも考慮して、実施させていただくことで再計画をすることに致しました。夕涼み会につきましては、趣が違いますので、残念ですが中止と言うことで、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

どなたもが、目に見えないウイルスとの戦いに、閉塞感を余儀なくされている日々であります。こんな時期も生き抜く知恵と勇気をもって生活する気概だけは失わないことが大事なのだと思います。皆様方の慎重にされている生活のお陰で、家族も職場も、地域もウイルスから守られております。幼稚園も2ヵ月遅れでの令和2年度が本格的に全員でスタート出来る時を迎えられたことに喜びを感じ、一人一人の成長を楽しみながら、一日一日を応援して参りたいと思います。よろしく願いいたします。